

(様式3)

農業研究成果情報 No.855 (令和元年(2019年)5月)分類コード 02-05 熊本県農林水産部

シュッコンカスミソウ春出し栽培における不要側枝の発生は電照処理で軽減できる

シュッコンカスミソウ春出し栽培において、不要側枝発生が問題となっている「アルマイル」では、摘芯時4cmの脇芽長( )が12cmまで伸長する期間内に、暗期中断深夜4時間の電照を開始し、脇芽長30cm~40cmを目安に消灯すれば、発生が軽減される。ただし、電照期間が短くなると、切り花品質は低下する。

農業研究センター農産研究所花き研究室(担当者:松野 佑哉)

### 研究のねらい

本県ではシュッコンカスミソウを、春の彼岸に向けて出荷する春出し栽培が広く行われているが、管理方法により不要側枝の発生が多く、切り花ポリウムムの低下や採花後の切り花調整に要する労働時間の増加が生じている(図3)。

そこで、特に問題となっている、シュッコンカスミソウ「アルマイル」の3月出荷における不要側枝の発生軽減技術を確立する。

### 研究成果

1. 「アルマイル」では、摘芯時4cmの脇芽長( )が12cmまで伸長する期間内に、暗期中断深夜4時間の電照を開始し、その後に脇芽長が30cm~40cmに達したら消灯することで、無電照栽培と比較して不要側枝の発生が有意に軽減される(表1、図4、図5)。
2. 電照による開花促進には、摘芯後の脇芽長( )が12cmから30cmへ伸長する時期に電照することが、短期間にもかかわらず効果が高いが、より長期間の電照時に比べ、切り花重や茎径等の切り花品質は低下する(表2)。

摘芯時に上から3本目に発生している脇芽の長さ(基部から先端まで)(図1、図2)。

### 普及上の留意点

1. 本試験はビニルハウスで行い、平成29年(2017年)10月6日に定植、摘芯は11/13に脇芽長が4cm程度伸長した時に実施し、6本仕立てとした。電照処理は白熱電球(みのり:75w)を用いて深夜4時間暗期中断(22時~2時)とし、昼25換気、夜6加温下で栽培した。
2. 電照処理を行うことによる頂花節間長の間伸びや、総枝数の減少に留意する。
3. 過度な高温蒸し込み管理や土壌水分過多管理は行わない。

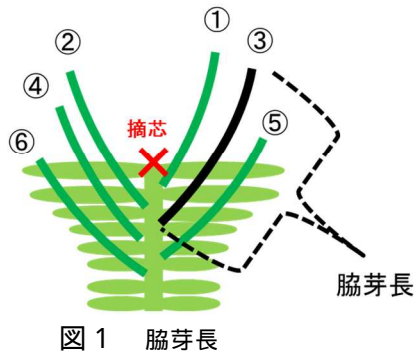


図1 脇芽長



図2 摘芯直前の草姿

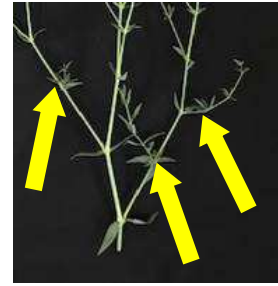


図3 不要側枝

表1 本試験における「アルタイル」の電照処理時期

	電照期間			
	電照開始 生育ステージ	電照終了 生育ステージ	電照時期	電照 期間
慣行区	-	-	-	-
試験区	脇芽長4cm	脇芽長20cm	11/13~11/28	16日
試験区	脇芽長4cm	脇芽長40cm	11/13~12/11	29日
試験区	脇芽長12cm	脇芽長30cm	11/24~12/8	15日
試験区	脇芽長20cm	脇芽長40cm	12/3~12/17	15日

注1) 脇芽長は、摘芯後に上から3本目に発生した枝の基部を起点とし、先端の生長点までの長さ

不要側枝数(個)

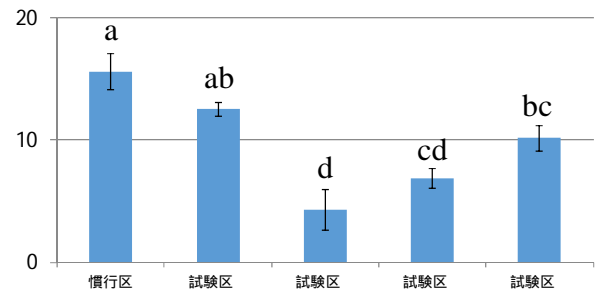


図4 「アルタイル」における電照処理が不要側枝の発生に及ぼす影響  
異なるアルファベットはTukeyの多重比較検定により5%水準で有意差あり



図5 調整前の無電照(慣行)区【左】、脇芽長4cm~40cm電照区【中】、脇芽長12cm~40cm電照区【右】

表2 「アルタイル」における電照処理が切り花品質に及ぼす影響

	平均 採花日	到花 日数 (日)	調整前			80cm調整後				
			草丈 (cm)	切り花重 (g)	節数 (節)	切り花重 (g)	茎径 (mm)	横張り (cm)	頂花 節間長 (cm)	総枝数 (本)
慣行区	3/10	155.2 a	142.0	320.7	22.8	40.6 a	4.5 a	43.7 a	3.9 a	5.6 a
試験区	3/5	151.1 a	144.0	314.1	21.2	50.1 b	5.0 b	46.5 ab	4.3 ab	5.3 ab
試験区	2/26	143.8 b	146.7	224.9	19.7	47.3 b	4.9 b	47.0 b	4.9 c	4.8 c
試験区	2/27	143.8 b	144.1	253.1	20.6	41.0 a	4.6 a	43.9 a	4.8 c	5.1 bc
試験区	3/6	148.6 a	149.4	306.1	22.4	39.1 a	4.3 a	45.0 ab	4.6 bc	5.4 ab

注1) 到花日数は、定植日から平均採花日までの日数

注2) 節数は摘芯後に仕立てた枝の頂花までの節数を測定

注3) 茎径は下から3節目を測定

注4) 横張りは切り花の最も横幅の広い部分を測定

注5) 頂花節間長は頂花の直下の1節を測定

n=6

異なるアルファベットはTukeyの多重比較検定により5%水準で有意差あり